

指定、そして保存活用へ

文化庁文化財第二課
近江 俊秀

1.そもそも史跡って何？

史跡ってなに？

「貝塚, 古墳, 都城跡, 城跡, 旧宅, その他の遺跡で,
我が国にとって歴史上または学術上価値の高いもの」
のうち重要なもの。 By文化財保護法

熊本県にはどんな史跡がある？

特別史跡 熊本城跡をはじめとする42の史跡があります。

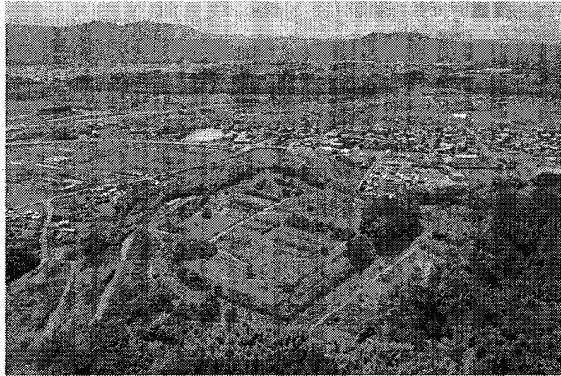
全国16位タイですが、大正10年の第一期指定が7件(全48件中)あります。

因みに、全国で史跡は**1,859件**(令和3年7月1日現在)
(国宝は1,125件、重要文化財は13,330件)

全国に遺跡は約46万8千件ありますので、史跡になるのはそのうちの**0.4%**です。

2.陣ノ内城跡はなぜ史跡に指定された？

陣ノ内城跡 史跡指定までの道のり



分かっていたこと

- ①肥後の中世城館の中でも突出した規模を持つ
- ②堀と土塁が極めて良好に残る
- ③緑川が平野へ下った交通の要衝にある

分からないことを少しでも解き明かすために、発掘調査をはじめとする総合的な調査が必要

分かっていたいなかったこと

いつ造られた城？

堀・土塁以外にどんな施設があった？

誰が造った城？

遺跡の価値にたどり着くまで長い調査・研究の歴史がありました

最初の評価 阿蘇大宮司家の館跡(～平成15年頃まで)

江戸時代中期以降の史料(「拾集昔語」や「古城考」、『肥後國誌』の記載 正平3年(1348)の「恵良惟澄軍忠状」 甲佐嶽、甲佐城 『上井覚兼日記』天正13年(1585)閏8月13日条に、「甲佐之囲」平面が方形であること。石垣が認められないこと・・・

評価への疑問(平成15年以降)

熊本の中世の館に比べ、館全体の規模が著しく大きく、堀や土塁の形状は中世ではなく、織豊期のものに類似するのではないか。その場合、築城は佐々成政(1587)、小西行長(1588～1600)、加藤清正(1600～)のいずれかの可能性が考えられるが、小西の可能性が最も高いという見解が示される。ただし、決定的な根拠がない・・・

新たな評価(平成20年以降)

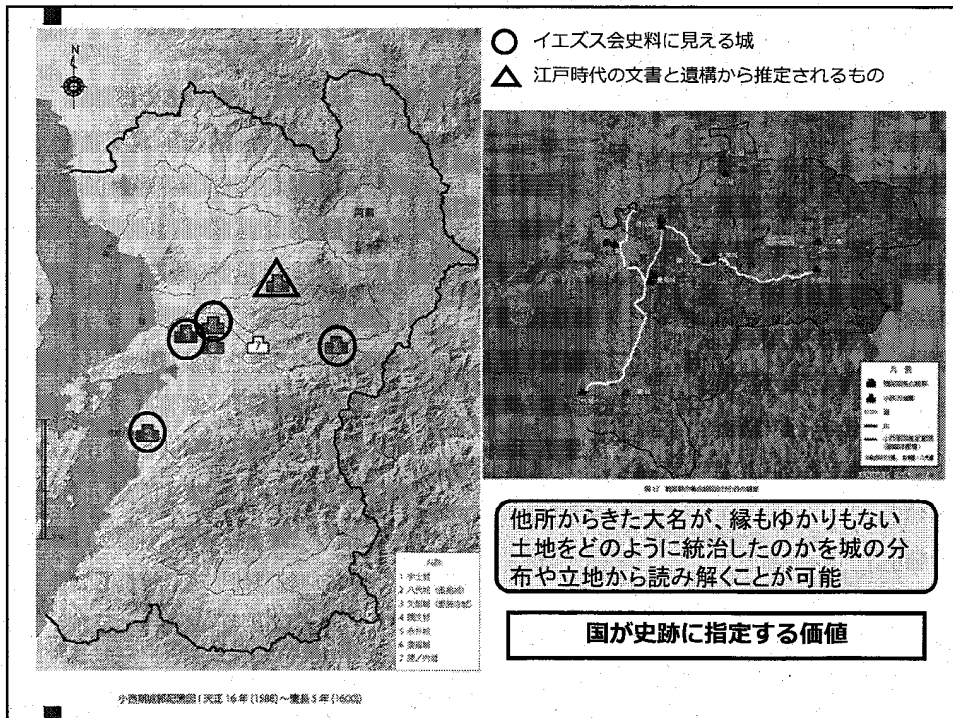
発掘調査により、阿蘇氏の時期の遺物の他に16世紀末から17世紀初頭の遺物が出土していること(小西の時期に何らかの施設が存在した可能性)。城郭研究の進展により城の構造が16世紀末以降であることが確実視されるに至ったこと。小西期が築城した城はそれ以前から地域の拠点であった場所に位置する傾向にあることが明らかになったこと。

豊織期城郭であることはほぼ確実。肥後国の時代の画期に造られた城

陣ノ内城跡の価値

陣ノ内城跡は緑川と流域の平野を見下ろす標高約100mの平坦地上に立地する。堀と堀の内側に沿った土塁が明瞭に残り、その規模は発掘調査で確認されたものを含めると、東西210m以上、南北190m以上に及び、北西と南東に虎口をもつ方形の城跡であることが明らかになった。江戸時代中期頃から阿蘇(あそ)大宮司(だいくうじ)の館跡と伝えられ、中世の輸入陶磁器なども出土するが、肥後国内で突出した規模を持つこと、大規模な堀と土塁で構成される城の構造は、豊臣系大名の城に共通することから、天正16年(1588)に入部した小西行長が阿蘇氏の拠点が置かれた場所に築城したとする見方が示されている。

肥後国における中世城館の中でも突出した規模を持つ保存状態が良好な城跡であり、城跡のある場所は水陸交通の要衝であり、文献史料と出土遺物などから長期間にわたって継続的に利用されたと考えられる。阿蘇氏から豊臣系大名による肥後国支配へと転換する時期の政治的、社会的状況を考える上でも重要である。



3.陣ノ内城をどう活かすか？ -各地の取組の紹介-

未来へ……

まずは、この遺跡がどんな遺跡か、どんな価値があるのかを多くの人に知ってもらいたい。

その上で、遺跡の意味や価値、面白さを伝えるアイデアを幅広く集めてほしい。

堅苦しく考えずにみんなが楽しくなるような企画がよいと思います。

参考までに、文化庁のbunkachannelで公開している「いせきへ行こう」とかを見ていただいたらよいか、と思います。

※「いせきへ行こう」で検索!!